

水産資源委託調査

兜森 良則・中川 賢三・黄金崎 栄一

発表誌名

昭和60年度沿岸重要資源委託調査結果報告書

抄 録

1. 漁 況

青森市後潟における昭和60年4～12月の対象魚種別の漁獲状況は、以下のとおりである。

- (1) マイワシ：漁獲量は、およそ808トン。ここ4年間維持されてきた1,000トン台を割った。
- (2) カタクチイワシ：漁獲がみられたのは5月と7月のみ。漁獲量は1,621kgで極めて不振だった。
- (3) ウルメイワシ：ほとんど漁獲されず、5月に15kg、7月に62kgの漁獲があったのみであった。
- (4) マサバ：漁獲量は、およそ8トンと昭和53年以降では最高で、特に6、7月が好調であった。
- (5) スルメイカ：漁獲量は、およそ16トンで昨年（217kg）の75倍と好調な漁況であった。

2. 魚 体 調 査

青森市後潟前沖で小型定置によって漁獲されたマイワシを対象に調査した。

(1) 体長と体重の関係

体長13～22cmの範囲で次のような回帰式が求められる。

$$\text{直 線 } Wg = -107.2 + 9.7 L \text{ cm } (r = 0.96)$$

$$\text{指数曲線 } Wg = 0.01 L^{3.06} \quad (r = 0.96)$$

(2) 体長組成とその推移

体長は11.0～22.0cmの範囲で、最大モードは5月の17.5cm、最小は9月の14.0cmであった。

(3) 成熟係数（KG）とその推移

5～11月の期間でのKGは、1.5以下のものがほとんどであった。

(4) 肥満度とその推移

肥満度は8.4～16.2の範囲にあり、その99%が9～14の範囲に入っていた。

(5) 年 齢 に つ い て

鱗の輪数で判定した。判定ミスも多く含まれると思われるが、1～5歳魚の範囲にあった。

(6) 漁 場 水 温

夏期は、表層と底層で温度差が激しく、また、1～4月は7℃以下となる。